

埼玉県スポーツ科学拠点施設整備事業基本計画の概要(令和7年度改定版)

1. 本計画の位置付けとスポーツ科学拠点施設整備の基本方針

(1) 本計画の位置付け

- ア 本計画は、令和6年度のPark-PFI方式による公募不調を受けた見直しを踏まえ、競技力向上施設及び体育館の整備に当たり、基本となる事項等を示すものである。
- イ 令和8年度は、競技力向上施設及び体育館と相乗効果を生じさせるその他の施設の整備に向け、民間事業者の提案を踏まえ、令和4年度策定の基本計画の内容を生かしつつ、本計画を更新していく。

(2) スポーツ科学拠点施設の設置目的

- ア HPSC(国のハイパフォーマンススポーツセンター)と連携したスポーツ科学拠点施設を整備し、パラスポーツを含む多様な競技の競技力の向上を図る。
- イ スポーツ科学の知見を有する指導者を育成できる環境を創出し、県のスポーツ科学活用の基盤となる人材の育成・蓄積と活用を図る。
- ウ 県民がスポーツを行う際に科学的知見を取り入れられるよう各種事業を行い、県民のスポーツ実施率の向上、健康づくりを図る。
- エ 上尾運動公園と一体となった整備・運営を行うことで、効率的な運営と県民サービスを実現すると共に、上尾運動公園の賑わいを創出する。

(3) 事業範囲

【右図赤枠内】

上尾運動公園東エリア
(リプロ武道館敷地及びアイスアリーナ敷地を除く)及びスポーツ総合センター敷地



2. 競技力向上施設及び体育館の整備 (「その他の施設」に関する民間事業者の提案内容によっては、柔軟に見直すこととする。)

(1) 設置目的

- ア パラスポーツ・デフスポーツを含む多様な競技の競技力向上
- イ スポーツ科学の知見を有する人材の育成、蓄積及び活用
- ウ スポーツ科学の普及並びに、県民のスポーツ実施率の向上及び健康づくり

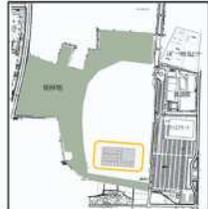
(2) 整備場所

公園北側・南側の2案を併記

《公園北側》



《公園南側》



(3) 整備施設

競技力向上施設

体力・形態測定室、データ分析室、ウエイトトレーニング室、コンディショニングルーム等

体育館

ゲーム分析及びトレーニング等を同時に行えるバスケットボールコート2面相当

(4) 施設面積(延床面積)

競技力向上施設 : 約3,200㎡

体育館 : 約4,000㎡

※ 整備する施設の面積については、競技力向上施設に導入する機能の在り方などにより変動する

(5) 整備手法

上尾運動公園内に新築

(6) 概算費用

・施設整備: 約53億円

・導入機器: 約 3億円

※ 費用は概算であり、競技力向上施設の構造形式や導入する機能の在り方などにより変動する

(7) 事業スキーム

県直接施工方式(DB方式)

(8) スケジュール

ア 令和8~9年度: 事業者選定

イ 令和9~13年度: 設計、建設

ウ 令和13年度: 開設